

「鎌ヶ谷市第3次行財政改革推進プラン」
 ～未来に希望を持てる持続可能なまちであり続けるために～
令和4年度の実績について

1 計画の目的

少子高齢化・人口減少への対応、公共施設の老朽化対策、新型コロナウイルス感染症の影響等に伴い、財政状況が厳しさを増すなど、多くの解決すべき行政課題がある中で、将来にわたって必要とされる行政サービスの提供を維持していくためには、引き続き、これまでの行財政改革の取組みを継続しながら、新たな視点として、ICTの活用や業務効率化など「経営的な視点」を取り入れ、より効率的な行財政運営を推進していく必要があります。

そのため、限られた行財政資源（財源・人材・資産）を最大限に活用するため、「健全な財政状況の維持」と「将来のまちづくりへの積極的な投資」の二つのバランスを見極めながら、経営的な視点を踏まえ、効率的で効果的な自治体運営の実現を目指します。

2 計画に定める数値目標に対する実績

項目	目標	令和4年度実績
① 車座集会の参加人数（累計）	3,000人 （令和8年度）	2,613人
② 経常収支比率	※1 95%未満	91.7%
③ 財政調整基金残高	※2 19億円以上	26億円
④ 健全化判断比率	早期健全化 基準未満	早期健全化 基準未満

※ 上記の他に「行財政改革による歳出超過の解消」も数値目標として定めていますが、行財政改革の効果は、歳入確保・歳出削減だけでなく、市民サービスの向上や事務の効率化を図られるものが多くあるため、行財政改革全体の効果額は、明らかにしていません。

※1 行財政改革推進プランにおける経常収支比率の数値目標は、減債基金繰入金を経常的な支出である公債費から差し引いた額で算出した経常収支比率を用いています。

※2 令和4年2月に策定した「財政健全化計画」に定めた目標値

3 令和4年度の実績結果について（全56項目）

年度終了後、取組項目ごとに「数値目標」及び「年度別計画」の2種類の評価を実施します。「数値目標」の評価は、数値目標の達成状況を評価するものであり、「年度別計画」の評価は、毎年度定める年度別計画の進捗状況を評価するものであり、「数値目標」と「年度別計画」の評価は別々に実施します。

《数値目標》設定数44項目

※数値目標を設定している取組項目のみ評価を行います。

区分	行動評価	項目数
A	目標を上回る達成	24
B	達成	10
C	未達成	10

(1) 計画を上回るとした取組み：24項目

No.	取組み項目名	評価の理由
24	施設の維持管理の効率化及び長寿命化の推進（営繕室）	改修工事の実施により公共施設の劣化状況評価における健全項目の割合が令和4年度計画値67.4%に対し、実績値69.9%となり、計画を上回る結果となった。
29	市税等の徴収率向上（収税課）《2項目》	納期内納付の推進や納税環境の整備、滞納処分等の強化を行ったことで、徴収率が向上し、数値目標を達成した。
30	国民健康保険料の徴収率向上（保険年金課）《2項目》	多様な納付チャンネルが導入されたため、設定された数値目標を達成した。差押等を1,215件実施した。件数は前年を大幅に上回り、現年・繰越分の各収納率は前年比で増加した。
31	保育料の徴収率向上（幼児保育課）《2項目》	令和5年3月末の保育料収納処理並びに現年度督促及び催告等の文書通知を行うことで、目標値を達成した。
32	放課後児童クラブ保護者負担金の徴収率向上（こども支援課）《2項目》	令和4年度の保護者負担金の計画値96.10%に対し、実績値は96.24%となり、数値目標を達成した。
33	介護保険料の徴収率向上（高齢者支援課）《2項目》	令和4年度徴収実績は計画値97.01%に対し、98.89%となり、計画値を上回った。
34	公共下水道料金の徴収率向上（下水道課）《2項目》	数値目標については、当初見込みのとおり達成した。
35	学校給食費の徴収率向上（給食管理室）	過年度の徴収率のみ計画値12.85%に対し、14.40%と計画値を上回った。

40	デジタルサイネージの実施及び行政情報の積極的な発信（企画政策室）	市ホームページの有料広告は、広告代理業者に広告確保を委託する方式に変更したこと等により、令和4年度計画値 240 千円に対し、実績値 435 千円となり、計画を上回る結果となった。
42	ふるさと納税制度の活用（財政室）	委託事業者と連携し返礼品の開拓及び広告掲載を行ったことにより、令和4年度計画値 19,514 千円に対し、実績値 40,250 千円となり、計画を上回った。
43	義務的経費を除く経常的経費の抑制（財政室）	令和4年度においては、都市計画税を除く市税の決算額が 130 億円を超え、各種交付金の交付額も予算額を上回る結果となった。また、歳出面においては、「使い切り予算」の禁止徹底など、効果的な予算執行に努めることができた。
44	歳出全般の効率化と財源配分の重点化（財政室）	令和4年度においては、都市計画税を除く市税の決算額が 130 億円を超え、各種交付金の交付額も予算額を上回る結果となった。また、歳出面においては、「使い切り予算」の禁止徹底など、効果的な予算執行に努めることができた。
45	財政健全化計画に基づく中長期的な財政運営の確立（財政室）《2項目》	経常収支比率については、臨時財政対策債の減があったものの、普通交付税の追加交付や市税、各種税交付金の増等により目標を達成した。 財政調整基金年度末残高については、令和3年度決算の過去最高額の実質収支を活用し、財政調整基金に積み立てることができたことなどは過去最高の実質収支に伴い計画値 19 億円に対し、実績値 26.0 億円（見込）と大幅に目標を達成した。
47	単独扶助費、補助金等、負担金・分担金の見直し（財政室）	令和4年度においては、都市計画税を除く市税の決算額が 130 億円を超え、各種交付金の交付額も予算額を上回る結果となった。また、歳出面においては、予算編成時など定期的な扶助費や補助金等の見直しなどに取り組むことができた。
51	車座集会による業務改善等の推進（企画政策室）	車座集会等への参加人数については、各年度 100 人の参加を目標としているところ、令和4年度は 113 人の参加があった。計画値 2,600 人に対し、実績値 2,613 人となり、計画を上回る結果となった。
52	人材育成の推進（人事室）	派遣研修の再開やコロナ感染症により前年度まで動画で実施していた研修を、対面により実施することができた。
54	協働の推進（市民活動推進課）	協働研修に参加した職員が研修の内容を概ね理解することができた。令和4年度計画値 72%に対し、実績値 100%となり、計画を上回る結果となった。

(2) 未達成とした取組み：10項目

No.	取組み項目名	評価の理由
18	各種印刷物、出版物の見直し（行政室）	印刷用紙・コピー用紙年間発注枚数について、令和4年度計画値 931 万枚に対し、実績値 978 万枚となったため。
22	民間活力の導入・促進（企画政策室）	各所属から検討事項の要望がなかったことから、民間活力検討会議を開催しなかったため。
35	学校給食費の徴収率向上（給食管理室）《2項目》	現年度分の徴収率が低迷したため、達成には至らなかった。理由として、物価高騰、新型コロナウイルス感染症の影響などが考えられる。
37	未利用地の売却促進と有効活用（契約管財課）	軽井沢地区の普通財産（赤道）1件の売却を行ったものの、旧第二学校給食センター等跡地及び看板を設置している鎌ヶ谷二丁目の普通財産は、共に売却に至らなかったため。
39	企業誘致の推進（商工振興課）	企業誘致件数について、令和3年度から令和4年度の2年間で1件誘致する計画に対し、企業の誘致には至らなかったため。
46	財務会計システムの検証及び統一的な基準による地方公会計制度の活用（財政室）	財務書類等の公表については、令和5年4月となったため。
48	給与・手当の適正化（人事室）	時間外勤務時間数の枠配分については、マイナンバー応援業務などによる時間外勤務時間数の増加により、達成には至らなかった。
53	窓口サービスの向上（人事室）	窓口対応の研修参加数については、新型コロナウイルス感染症の陽性者や濃厚接触者となった職員が研修に参加できなかったことに加え、同感染症への対策として、研修への積極的な参加を控えていたため。
54	協働の推進（市民活動推進課）	協働アドバイザーによる相談件数については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、計画値を下回った。

《年度別計画》全56項目

区分	全体評価	項目数
A	計画を上回る	4
B	計画どおり	42
C	一部未実施	10
D	未実施	0

(1) 計画を上回るとした取組み：4項目

No.	取組み項目名	評価の理由
14	【新規】健康相談記録管理システムの導入 (健康増進課)	令和5年度に実施予定であった業務について、令和4年度新規事業の改修と併せて機能追加を行うことができたため。
38	自動販売機設置事業者の入札等 (契約管財課・人事室)	入札を行い契約した自動販売機について、貸付料を徴収した。当初予定よりも3台多く入札を行ったため。
42	ふるさと納税制度の活用 (財政室)	年度別計画の各項目については、概ね遅滞なく実施できた。また、ふるさと納税寄付金効果額が計画値よりも実績値が上回ったため。
52	人材育成の推進 (人事室)	採用が困難な土木職、建築職について、民間企業等職務経験者採用試験を実施し、採用することができたため。

(2) 一部未実施とした取組み：10項目

No.	取組み項目名	評価の理由
6	【新規】統合型GISの導入 (企画政策室)	導入に向けた情報収集や、関連課との調整に時間を要し、導入方針の策定に至らなかったため。
8	【新規】AIチャットボットサービスの導入 (広報広聴室)	市公式LINE情報発信事業に併せてAI型チャットボットの運用開始を検討していたが、費用対効果等を検討した結果、シナリオ型のチャットボットの搭載となったため。
12	【新規】障がい福祉システムの見直し (障がい福祉課)	現行システムの契約期間の延長について、ベンダーの回答が出るまで時間を要し、令和5年度当初予算に計上することができなかったため。
15	【新規】公園台帳のデジタル化 (公園緑地課)	数社から見積もりを徴取し、内容等の把握を行ったが、業者選定までは至らなかったため。

22	民間活力の導入・促進 (企画政策室)	検討テーマの抽出については、先進市の事例や業者からの情報を収集するなどを行ったが、方針の策定までには至らなかったため。
26	【新規】都市公園における 公園灯のLED化 (公園緑地課)	公園灯の設置状況の調査については、平面図を作成し、公園台帳や過去の工事記録から公園灯の調査を実施しているが、全体の3分の2程度しかできなかったため。
35	学校給食費の徴収率向上 (給食管理室)	現年度分の徴収率が、物価高騰、新型コロナウイルス感染症の影響などにより低迷したため。
37	未利用地の売却促進と有効活用 (契約管財課)	広告付き看板の設置に関して、課題の洗い出しを進めたが、千葉県屋外広告物の規制等を確認する必要が生じ、要項の策定まで至らなかったため。
46	財務会計システムの検証 及び統一的な基準による 地方公会計制度の活用 (財政室)	年度別計画の各項目については、概ね遅滞なく実施できたが、財務書類等の活用方法の検討及び庁内共有と財務書類等の活用案の策定については、検討は続けたものの、庁内共有及び活用案の策定までには至らなかったため。
54	協働の推進 (市民活動推進課)	交流会事業については、多様な主体ではなく、市民団体同士の交流機会の提供に留まったため。